

課題名	術後意識障害患者に対する早期離床訓練の意識改善、合併症予防効果について
	<ul style="list-style-type: none"> (1) 新規に導入される医療 (2) 保険診療の対象とならない医療 (3) 患者に不利となる可能性のある医療 (4) その他
研究責任者	本田 稜実
概要	<p>当院は脳卒中を発症した患者は、急性期から回復期・維持期へと一貫した医療が提供できるという特色を持っている。しかしながら当院での一般病棟では土日祝日リハビリを行っていない。主幹動脈閉塞、脳出血後の意識障害を伴う患者も多く、SCUから急性期病棟に転棟後も継続したリハビリが提供できるよう看護師による離床訓練を積極的に行った。その結果、安静臥床による合併症の予防、意識状態の改善を認めることができた。今回、血管内手術を含めた術後意識障害のある患者に対する5事例の取り組みを発表する。</p> <p>患者個人を特定するような情報は匿名化する。データには個人が特定されないように配慮した。ホームページ上でのオプトアウトを行う。</p>